

Domaine CONFURON-COTETIDOT

ドメーヌ・コンフュロン・コトティド



**5年連続三ツ星獲得!! 熱狂的なファンに支持される
ヴォーヌ・ロマネに本拠を置く当地で最も古い生産者のひとつ**

Domaine Confuron-Cotetidot/
ドメーヌ・コンフュロン・コトティド
生産地: Bourgogne/ブルゴーニュ(フランス)

コンフュロン・ファミリーはヴォーヌ・ロマネに本拠を置く当地で最も古いワイン生産者のひとつです。ドメーヌはジャック・コンフュロンと妻ベルナディット・コトティドが1964年創業。当時は3haでした。現在は畑を拡張し、ヴォーヌ・ロマネ周辺が大半を占めますが、他ジュヴレイ・シャンベルタンからムルソーまでの11haを所有。ヴォーヌ・ロマネ AOCにおいては村の各地に5箇所の畑があり、1.8haを所有。どのワインにおいても村の特徴がよく出せる生産者です。

現在は当主ジャックと1990年代より携わる息子のジャン・ピエール、イヴと3人が中心となってドメーヌを運営しています。時と共にワインのスタイルを少しずつ変更し、現在では以前と比較して抽出を抑えたワインになっています。ブドウ作りではセレクション・マサルされた高品質のピノ・ノワールが完熟するまで待つ収穫。当地で1、2を争うほど遅摘みを行う事で知られています。この遅摘みにより、ブドウは梗まで熟す程です。当主ジャック・コンフュロン自らピノ・ノワールを自家選抜。当初より有機栽培を行ってききましたが認証はとっていません。

ワインはどれも樽香を残さないため新樽は20%までに抑え、全房で仕込みます。自らのドメーヌのワイン造りに携わりながらも、ジャン・ピエール・コンフュロン(長男)はドメーヌ・シャンソン(Domaine Chanson)のワイン生産における総責任者、イヴ・コンフュロン(次男)はドメーヌ・ドゥ・クールセル(Domaine de Courcel)のワイン生産の責任者です。真に実力のある醸造家兄弟です。フランスを代表するワイン専門誌『ラ・レヴュ・デュ・ヴァン・ドゥ・フランス【La Revue du Vin de France(RVF)】』のガイドでDRCやルロワと同じ三ツ星を獲得しています(5年間連続2018~2022年)。

